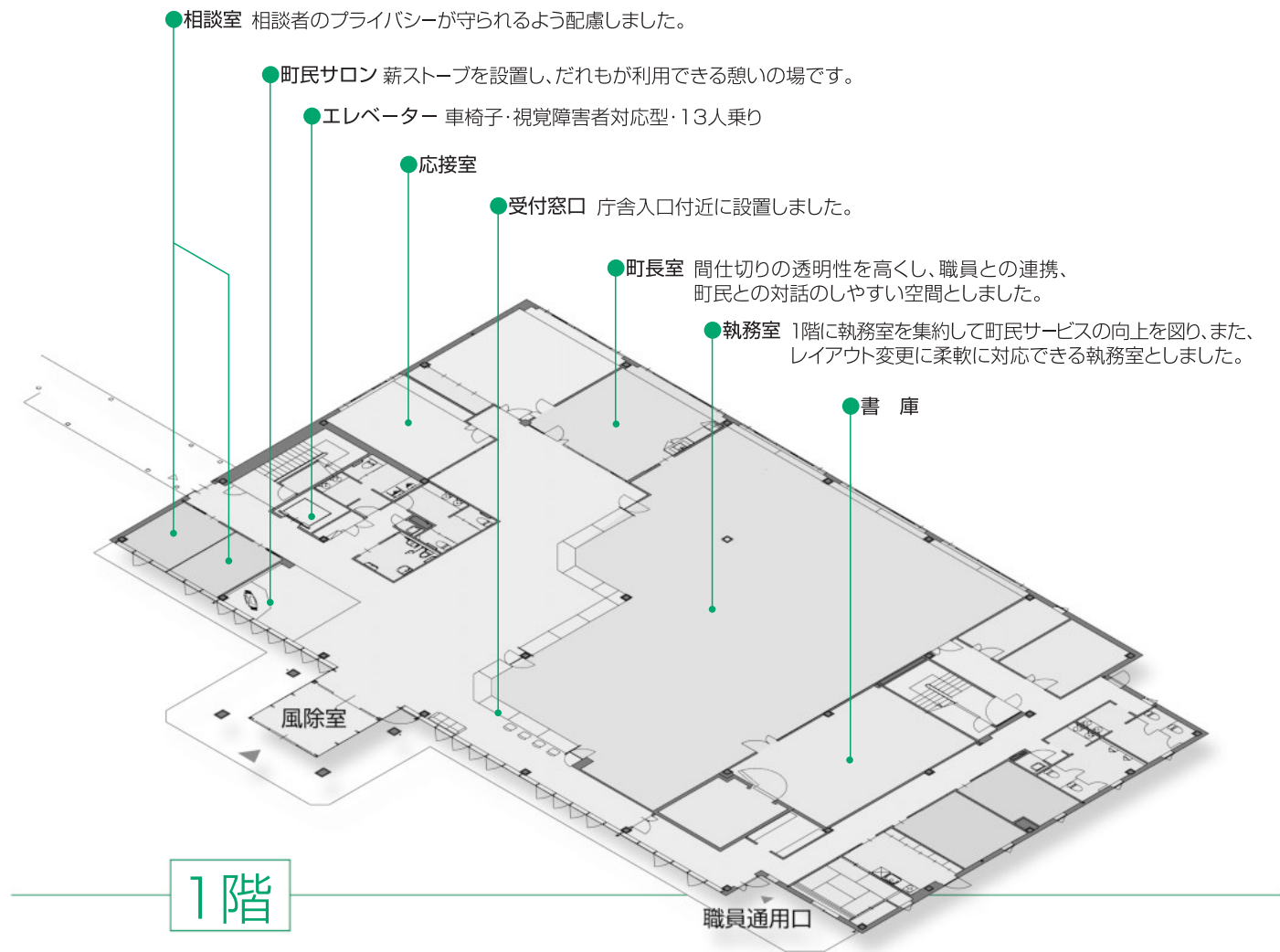


2階



1階

たばねばり
地元産材を使用し、日本伝統の東梁工法で造られています。



構造架構図



庁舎の完成おめでとうございます。町民みんなが、気軽に立ち寄れる役場にしてほしい。頓原地域は医療・福祉、来島地域は教育、志々地域は観光、赤名地域は行政。それぞれ拠点の種類は違いますが、町が一体となってまちづくりを進めていかないといいけませんね。

少し話はそれますが、役場に入りたい(就職したい)と思えるような、魅力のある役場となるようお願いをしたい。活気のある職員であってほしいです。

新庁舎建設検討委員会 委員 篠原 町子さん



議場入口から見る木造のトラス

飯南町本庁舎の特徴
本町は島根県中南部、神話のふるさと、神戸川・江の川の源にあり、平坦地の標高が約450mの県下でも代表的な高原地帯です。面積は242・88平方キロメートル(東西32km、南北32km)で、約90%を山林原野が占めています。本庁舎の建設にあたっては、飯石森林組合と「平成26年公有

林造林事業」に基づき、本庁舎建設事業における木材供給に係わる協定を結びました。町有林の里山で大切に育った樹齢60年になる杉を伐採、製材・乾燥し積雪2・0mを超える荷重に耐える庁舎屋根の構造材として、日本古来からの東梁工法で使用しました。